

「残念ですが、胃がんです」

病院で精密検査の結果を言いわれたとき、東京の患者さんならたいがい黙って下を向くという。そのあと二人の間にしばらく沈黙が続く、先生はその沈黙をじっと待つという。

しかし、大阪の患者さんはちよつと違うらしい。

「残念ですが、胃がんです」

「ええ？ 胃がんでっか？ ……そこで、なんとかかなりまへんやろか」

「……」

「なんともならんわなあ。……言うてもしやあないわなあ……」

「まあ、ねえ」

「しかし、胃がんとは思わなんだなあ。……そらまあ、自分の体にできてしもたんやから……センチに言つてもほかの病氣と換えてもらうわけに行かんのは分かってますけど……それにしても、えらいもんができましたなあ……」

「まあ、ねえ」

先生はとりあえず「まあ、ねえ」しか言つてないのだが、患者が自分でおねおね言つて自分で気持ちなだめて治療の話し合いはそこから始まるよつだ。

「大阪へ行ったら通天閣にのぼりたい」と言つた知人に対し、とりあえず話を続かせるつもりで「あんなんやめとき。ただの汚い展望台や」と言つたら、相手が黙りこんでしまったという



## 「なんとかかなりまへんやろか」

おのえけいすけ  
尾上圭介

プロフィール  
1947年大阪市に生まれる。東京大学大学院人文社会系研究科教授(3月まで)。博士(文学)。専門は日本語学、特に文法論。それとは別に、大阪のことばと文化とお笑いに関心が深く、その方面の著書として『大阪ことば学』(創元社、岩波現代文庫)がある。日本笑い学会理事。

話を読んだことがある。東大近くの古い古いカレー屋でライスに白い石が入っていて、レジの時に「前歯がちよつと欠けたよ」と言つたら、店番のおばさんがこちらの目も見ないで黙り通したこともある。

相手の意外なことばを聞いたり、都合の悪い状況に直面したとき、なんなとことばを繰り出して、話題の事実と自分との間に何とか折り合いをつけたり、そうすることによつて相手と自分を含むその場の空気を維持したりするというのは大阪という都市の高度な芸当である。そういう文化と無縁な人は、ばつが悪そうに、あるいは不機嫌そうに、ただ黙つてつむくことしかできない。相手の言語的対応能力が当てにできない土地では、そういう気まずさを避けるためには、あらかじめこちらが発言をセーブするしかない。

ものを言うことでその場をなんとか救う。相手も自分も肩がこらんように、なんとか工夫して話をするのでなければ、ものを言う資格がない。とりたてて意識するまでもなく自然の身のこなしとしてそういう感覚が身についている人たちがあり、そのやりとりの上に成り立っている社会が、一方ではある。

ああ、大阪で暮したい。……なんとかかなりまへんやろか。……なんともならんわなあ。

月刊  
みんぱく  
4月号目次

- |    |                                       |    |   |
|----|---------------------------------------|----|---|
| 1  | エッセイ 千字文<br>「なんとかかなりまへんやろか」 尾上圭介      | 14 | 地球ミュージアム紀行<br>動物園に動物園を見に行く<br>新竹市立動物園<br>木下直之   |
| 2  | 特集 今和次郎の考現学と<br>その遺伝子たち               | 16 | 連載リレー 知の収蔵庫<br>ボクシングの文化論 3の1<br>ボックス!<br>樫永 真佐夫 |
| 2  | 考現学と民博 久保 正敏                          | 18 | 多文化をあきなつ<br>買い物で世界とコンシャスにつながる<br>人見 友子          |
| 4  | 今和次郎から梅棹忠夫へ 川添 登                      | 20 | 異間逸聞<br>「幸せの国」のあやうさ<br>南 真木人                    |
| 6  | 民博民家模型の意義 真島 俊一                       | 21 | みんぱく私の逸品<br>砥石入<br>近藤 雅樹                        |
| 8  | 考現学からの旅立ち<br>——根にある暮らしを伝えた大村しげ 横川 公子  | 22 | フィールドで考える<br>被災後を生きる<br>竹沢 尚一郎                  |
| 9  | モンゴルを考現学する 堀田 あゆみ                     | 24 | 次号予告・編集後記                                       |
| 10 | 研究フォーラム<br>SPレコードを通して声の歴史をさぐる<br>劉 麟玉 |    |   |
| 12 | みんぱく Information                      |    |   |